

【 日韓スポーツ交流2016・派遣 】

試合結果報告 9 月 22 日 (木)

JPN	VS	KOR
12	前半	11
18	後半	19
30	合計	30

個人得点

名前	前半	後半	合計
廣上 永遠			
蔦谷 大雅	3	4	7
木切倉志佑			
堀部 竜矢			
牧野 溪一郎			
窪田 礼央	1	1	2
安平 光佑	5	4	9
中谷 仁義		4	4
内田 光映		1	1
青 雅 俊	1		1
治田 大成			
笹本 穰太郎			
榎本 悠雅			
大津 慎吾			
石田 知輝	2	4	6
西原 雄聖			
合計	12	18	30

戦評

韓国仁川での一戦。先制点は日本の安平のスカイプレーで鮮やかに決まる。韓国はバックプレーヤーとポストプレーヤーの洗練されたコンビプレーで加点し、すぐに逆転される。日本は「アウェイの笛」になかなか対応できず、テクニカルミスを繰り返し流れをつかめない。3点差をつけられ日本のタイムアウト。チームのオフェンス・ディフェンスでの約束事を再確認して、試合再開。日本は前半の終盤にミドルシュートと速攻で連続得点し逆転に成功して12-11日本リードで前半を折り返す。

ハーフタイムでは、これまで練習してきたオフェンスでの間を狙い、強い縦を狙う意識を高めていくこと・ディフェンスではバックチェックでの約束事を確認して後半に臨んだ。立ち上がりから前半とは違い、点を取り合う展開となった。日本は速攻を中心に、バランス良く点数をあげる。韓国はミドルシュートとポストプレーを徹底して狙い続ける。日本GK西原のファインセーブや両サイド石田・中谷のスピード溢れるカットインで勢いに乗り、韓国はたまたまタイムアウト。残り5分日本3点リード。ここから韓国の怒涛の追い上げが始まる。徹底してポストとカットインを狙い、日本に退場者が出る。そのチャンスを逃さず、相手のミスを誘う韓国の積極的なディフェンスから速攻で連続得点し、一気に同点とされる。日本は再び退場者を出し、試合残り7秒で逆転される。クイックスタートで蔦谷の強烈なロングシュートがゴールに突き刺さりゲームセット。30-30の同点で試合を終えた。悔し涙も流した日本チームだが、10月沖縄での日本ラウンドでのリベンジに挑む。

報告記入者 :

小波津周史